

令和2年度第1回水道事業運営委員会の事前質問に対する回答

令和2年5月28日山本委員よりのご質問

質問①

議題2 水道料金表の一部見直しについて、今回の見直しにより一部の利用者にとっては値下げとなり、水道料金収入としてはどれくらい減になることが予想されるでしょうか（金額として、あるいは料金収入に対する割合として）

質問②

また、その減収は今後の水道運営に対して悪影響はないのでしょうか（十分な維持管理費が確保できるのでしょうか）

回答①

今回の原案の料金表にした場合のシミュレーションを平成30年度実績に基づいて行った結果、およそ63,700千円の減収となることを予想しております（臨時給水を除いた分ではありますが、概ね近い額になると予想しております）。

これは給水収益の約4.53%にあたるものとなります。

回答②

水道事業運営につきましては、平成28年度から昨年度までは1億円を超える純利益が続き、利益積立金が879,131千円となっており、現在は経営が安定していると言えます。1会計年度で1億円を超える純利益が出ている状況から64,000千円を差し引いても黒字となることが見込まれます。

突発的な要因等で収支に損失が生じた場合においても、利益積立金があるため、中長期的にも安定経営を維持できるものと見込んでおります。

